

# 北栄町過疎地域持続的発展計画（素案）概要※以下、「過疎計画」と略

## 1. 過疎計画策定の経緯

令和3年4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（過疎法）」の施行により、北栄町の大栄地区が初めて過疎地域に指定されました。

過疎指定された市町村は、地域の持続的発展を図るため、地域活性化の取り組みを推進します。

## 2. 過疎地域の要件

### ①人口要件（中期）

平成2年～27年（25年間）の国勢調査人口 ⇒ **大栄地区 Δ21.4%**  
の人口減少率が21%以上であること （北栄町Δ13.6%・北条地区Δ3.8%）

### ②財政力要件

平成29年度～令和元年度の3か年平均の ⇒ **北栄町 0.30**  
財政力指数が0.64以下であること

※鳥取県における過疎地域指定の状況 15 団体（2市、13町）



## 3. 過疎計画の基本方針

「鳥取県過疎地域持続的発展方針」を踏まえたうえで、北栄町の総合計画である「第2次北栄町まちづくりビジョン」の考え方に基づき作成しています。

## 4. 過疎計画期間

計画期間：令和3年度から令和7年度（5か年）

## 5. 過疎計画策定による財政支援措置

国の主な財政支援は以下のとおりです。過疎計画策定が支援を受ける条件となっています。

### ①過疎対策事業債（過疎債）の発行

- ハード事業、ソフト事業を対象とした地方債措置  
※元利償還金の7割が交付税措置される。

### ②国庫補助率のかさ上げ（公立小中学校、保育所等）

- 補助率1/2または1/3 ⇒ 5.5/10

### ③地方税の減収補填措置

- 製造業、旅館業、農林水産物等販売業、情報サービス業等の用に供する設備を新增設等した者について、その事業に係る機械及び装置、その事業に係る建物、その敷地である土地に対する固定資産税を課税免除した場合、その減収額を基準財政収入額から控除することで、普通交付税措置するもの。

## 6. 過疎計画策定スケジュール

- ・ 5月25, 27, 28日 過疎地域振興に関する意見交換会記録
- ・ 5月31日 議会全員協議会
- ・ 7月9日 議会全員協議会
- ・ 7月13日～ 鳥取県との協議
- ・ 7月15日～8月11日 パブリックコメントの実施
- ・ 7月28日 自治会長会
- ・ 8月27日 議会全員協議会
- ・ 9月 議会提出

## 7. 過疎計画（素案）の概要

### 第1章 基本的な事項

人口及び産業の推移と動向、行財政の状況、基本目標、達成状況の評価、計画期間、公共施設等総合管理計画との整合など

#### ①人口目標の長期展望（北栄町人口ビジョン）

- ・ 令和22年（2040年）の北栄町の人口：11,200人（社人研推計より約450人増）

	平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)
社人研推計（北栄町）	14,820	13,308	10,769
人口目標（北栄町）	14,820	13,364	11,220
人口目標（大栄地区）	7,504	6,652	5,449

## ②合計特殊出生率（北栄町人口ビジョン）

- ・国が人口置換水準とする「2.07」に令和22年（2040年）までに段階的に上げ、その後、維持する。

	平成27年 (2015年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)
合計特殊出生率目標	1.89	1.87	2.07

## 第2章 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

### 【現況と問題点】

- ・特に大栄地区で人口減少が進行しており、産業や地域の担い手不足、活力低下が懸念されます。

### 【対策】

- ・I J Uターンによる定住化を促進し、産業や地域の担い手確保、人材育成に取り組みます。

#### 【具体的な事業】

移住定住・結婚新生活補助金、農家民泊、国内外交流、地域おこし協力隊、集落支援員、高校生等の若者主体の地域づくり

## 第3章 産業の振興

### 【現況と問題点】

- ・大栄地区では「大栄西瓜」や「ねばりっこ」などのブランド化に成功している一方、担い手の高齢化等により、規模縮小や離農も始まっており、荒廃農地、鳥獣被害増加も懸念されます。
- ・規模の小さい商店等は、大規模ショッピングセンターやネット販売などの影響で厳しい状況に置かれています。中小企業の後継不足、担い手不足も起きています。
- ・「青山剛昌ふるさと館」の観光客は近年、急増していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少しています。

### 【対策】

- ・農産物のブランド強化とともに、就農支援等の担い手確保に取り組みます。町内事業所の経営安定や地域内消費を促進させるとともに、「名探偵コナンに会えるまち」と地域資源を活用し、新しい旅行スタイルや価値観に対応した観光受入環境の充実に取り組みます。

#### 【具体的な事業】

トップブランド産地の形成、新規就農・集落営農・共同活動支援、有害鳥獣防除、地域おこし協力隊、スマート農業、雇用促進・創業支援、地域ポイント制度、青山剛昌ふるさと館・JR由良駅・お台場公園・レークサイド大栄・道の駅大栄整備

## 第4章 地域における情報化

### 【現況と問題点】

- ・本町では、F T T H方式による光ファイバー網によりインターネット環境が維持されている状況です。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で地域内外の交流や地域の安全・安心の確保に、デジタル技術

活用が求められています。

#### 【対策】

- ・情報通信の高速化・高度化に対応するため、設備更新を行います。デジタル技術を活用した自治体DXを推進するとともに、避難所・集会施設等へのWi-Fi整備や支援を検討します。

#### 【具体的な事業】

光ファイバーネットワーク整備、自治体DX推進

## 第5章 交通施設の整備、交通手段の確保

#### 【現況と問題点】

- ・大栄地区は山陰道が未整備であり、生活道路は老朽化により破損箇所が増加しています。
- ・公共交通の利便性が低く、免許を持たない高齢者等の移動手段確保が課題です。

#### 【対策】

- ・道路の効率的な整備や除雪に取り組むとともに、山陰道の早期整備や適切な整備を関係機関に要請します。持続可能な公共交通ネットワークの構築や共助交通の実施支援などを検討します。

#### 【具体的な事業】

道路・橋梁の長寿命化・維持管理、バス路線・乗りあいタクシー・コナン空港連絡バス助成、バス待合所整備

## 第6章 生活環境の整備

#### 【現況と問題点】

- ・地球温暖化やごみの問題は、町民の健康や暮らしに影響を与えています。
- ・上下水道施設の老朽化や人口減少等による維持管理コストの増加が課題となっています。
- ・近年の大規模災害への懸念に加え、人口減少・高齢化による地域防災の弱体化が懸念されます。
- ・空き家・廃屋が増加しています。

#### 【対策】

- ・断熱性能に優れた省エネ住宅の普及促進により、省エネと健康増進を図ります。施設の統廃合・長寿命化に取り組みます。地域の防災力を高め、危機管理体制を強化します。また、危険空き家の撤去の促進、危険空き家にさせないための予防や利活用に取り組みます。

#### 【具体的な事業】

上下水道施設の長寿命化、合併浄化槽整備、自主防災組織育成、空き家対策

## 第7章 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

#### 【現況と問題点】

- ・少子化、核家族化、保護者の就労等により、子育て環境の充実が必要となっています。
- ・放課後児童クラブの大栄こども学級については、実施場所の中央公民館大栄分館が老朽化による

改築整備を検討しているため、新たな実施場所の確保が必要です。

- ・高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりが必要です。

#### 【対策】

- ・保育サービスの充実、相談・支援体制の充実に取り組みます。大栄こども学級の環境整備を進めます。誰もが地域で安心して住み続けられるよう、体制強化・環境整備に取り組むとともに、移動支援サービスの充実や共助交通の実施支援に取り組みます。

#### 【具体的な事業】

保育料無料化、在宅育児支援、大栄こども学級整備、婚活支援、大栄増進センター整備、健康診査、外出支援、共助交通推進

## 第8章 医療の確保

#### 【現況と問題点】

- ・大栄地区には、内科や歯科医、眼科医の診療所がありますが、倉吉市等の医療機関を利用する人も多くいます。

#### 【対策】

- ・中部圏域で必要な医療体制づくりを行います。

#### 【具体的な事業】

鳥取中部ふるさと広域連合事業（休日急患診療等）

## 第9章 教育の振興

#### 【現況と問題点】

- ・大栄小・中学校の校舎は耐震補強を終了していますが、計画的な修繕が必要となっています。今後、少子化が進む中、適正な学校規模の検討が必要です。
- ・大栄地区にある4つの体育館は全て築30年以上が経過しています。また、中央公民館大栄分館は築50年が経過し、老朽化が進んでいます。図書館やほくほくプラザ、大栄農村環境改善センターも約30年～50年経過しています。

#### 【対策】

- ・少人数学級、小中一貫校など様々な選択肢を検討します。学校や体育館等の施設は、長寿命化を図りつつ、児童生徒数や住民の減少に応じた建て替えや施設の集約等を検討します。

#### 【具体的な事業】

学校施設長寿命化（大栄小大規模改造、大栄中体育館屋根改修、大栄中グラウンド改修等）、給食センター整備、体育館整備・除却、中央公民館大栄分館整備、図書館・ほくほくプラザ・大栄農村環境改善センター整備

## 第10章 集落の整備

#### 【現況と問題点】

- ・大栄地区には33の自治会がありますが、人口減少や高齢化により、地域の担い手不足、自治会機能の維持、自治会公民館の維持管理などが課題となっています。

#### 【対策】

- ・自治会運営の人的、財政的支援を実施するとともに、地域協議会等の広域的な地域運営や地域課題の解決、地域振興の取り組みの検討、支援を実施します。

#### 【具体的な事業】

自治会総合交付金、自治会集会施設整備（改築・バリアフリー化、空調設備）補助金、地域協議会等の検討、地域の自立・活性化活動支援

## 第11章 地域文化の振興等

#### 【現況と問題点】

- ・国史跡由良台場跡や六尾反射炉跡、東高尾観音寺など全国に誇れる史跡や文化財がありますが、その存在や価値が十分に浸透しているとは言えません。
- ・地域文化活動等に取り組む人の固定化、高齢化が課題となっています。

#### 【対策】

- ・「北栄町文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財資料の調査・保存や活用に取り組みます。「名探偵コナンに会えるまち」として、「マンガ文化」のアピールや漫画・アニメ文化の振興を図ります。

#### 【具体的な事業】

由良台場・六尾反射炉発信連携、文化財保護、遺跡発掘調査

## 第12章 再生可能エネルギーの利用の促進

#### 【現況と問題点】

- ・化石燃料に頼ったエネルギー消費は、地球温暖化や資源枯渇といった環境負荷が高いうえ、エネルギーに関するお金は地域外に流出しています。
- ・既存の公共施設の維持には、維持管理費の負担のほか、大規模改修といった多額の費用発生が見込まれることから、町財政の圧迫が懸念されます。

#### 【対策】

- ・家庭や事業所、地域への再生可能エネルギー設備導入を支援します。また、地域新電力などエネルギー地産地消に取り組みます。公共施設の統廃合の検討や施設・設備の省エネ化・再エネ化に取り組みます。

#### 【具体的な事業】

省エネ住宅リフォーム補助金、創エネ設備等設置費補助金、再生可能エネルギー等導入、公共施設省エネ・再エネ事業